

心に残る文化財子ども塾 浜田市立松原小学校

1. 活動の概要

7月13日（木）、浜田市立松原小学校の6年生17人を対象として『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

まず、地元浜田市の文化財担当者が子どもたちに地図を配り、松原小学校のまわりには浜田城跡をはじめ古墳や焼物の窯跡など、様々な遺跡が見つかることを紹介しました。続いて、浜田城本丸櫓の模型で瓦が葺かれた屋根を指し示した後、出土した平瓦や軒瓦などの種類や特徴などを解説しました。子どもたちにとって150年以上前の瓦をふれたり持ったりするのは初めてだったため、強く印象に残ったようです。

次は大仏パネルの体験です。古代文化センター職員が簡単に説明する大仏のポーズやその意味を聞いてから、子どもたちは体育館いっばいに広げられた個々の大仏パネルを探しては並べ、実物大の奈良の大仏づくりに取り組みました。抜群のチームワークで大仏が完成すると、2階から眺めたり、パネルの上で縦一列に寝転がって、子どもたちは大仏の大きさを実感していました。

2. 活動の様子



「学校の近くに浜田城跡があります」



「瓦、ずっしり重たいよ」



頭はできるけど胴体は難しいね…



完成！大仏の高さは何人分かな？

3. 活動を終えて

1) 児童の皆さんから

- ・(体験してみたいことは)かわらを作りたいです。

- ・浜田城のしゃちほこの大きさが 1.4m もあって、ぼくより大きくてびっくりしました。
- ・(一番“心に残った”ことは) 浜田城に使われていたかわらやシャチホコの一部をさわらせてもらったことと、歴史を教えてもらったことです。浜田城を見てみたくなっただし、もっと知りたいなと思いました。
- ・(体験してみたいことは) ねん土で大仏をつくってみたい。(小サイズ)
- ・みんなで協力して作って完成した時、達成感がありました。そして大仏の大きさに驚きました。
- ・(一番“心に残った”ことは) 大仏パネルを作ったことです。理由は完成した時の大きさ、上から見た大きさにびっくりしたからです。6年生でねころがって11人分、体育館の半分以上ですごく大きいと思いました。
- ・(一番“心に残った”ことは) 大仏パネルが完成した時です。理由はみんなで協力して、大きさやポーズがより知れたからです。そして、聖武天皇と行基、農民のがんばりが分かりました。
- ・大仏の大きさと浜田城のかわらなどをさわることができた貴重な勉強になりました。今日の勉強を通して、昔の人の努力や願いそして今まで残ってきたその歴史を大切にしたいと思いました。

2) 担任の先生から

- ・大仏の勉強をした直後だったので、興味関心がある時に実施できてよかったです。実際の大きさを上から見たり、横になって身長と比較したりする姿があり、パネルの良さが生かした時間になりました。
- ・大仏の説明は、後の方が実物を見ながら考えることができるのではと思いました。
- ・とても楽しく、学びになる時間でしたので、毎年(大仏パネル体験の)チャンスがあると嬉しいです。

3) 古代文化センターから

松原小学校の皆さんには、浜田城跡やその瓦について興味関心を持ってもらえたようです。熱心に説明を聞いたり、瓦にふれていた姿が印象的でした。

大仏パネル体験では、一番下の台座のみあらかじめ並べていましたが、皆さんがお互いに協力して全体をうまく組み上げられたのには感心させられました。実際の大仏の大きさを上から眺めたり、パネルの上で寝転がったりして実感できたようです。

次は、奈良の東大寺で実際の大仏を見てみたり、たとえば出雲大社の本殿やほかの建物・仏像と高さをくらべてみても面白いのではないのでしょうか。昔の人々の思いやその歴史について、皆さんそれぞれの視点から考えてもらえるとうれしく思います。